

科目名	英会話 1		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2023 年度 後期	単位数	2
担当教員	ソニア・ベン・アブダラ		
内容および計画	<p>実際のコミュニケーションではどのような文の使い方をするのか、学ばなければなりません。話す能力をのばすためにも聞く力をつけなければならないのです。Listening(聴く)面を基礎にすれば、文法・語い・技能・すべての用法を効果的に学ぶことが出来ます。幅広く大量の listening をこなせば、語の意味についても多く知ることが出来ます。よく注意して会話を聞けば、発音やイントネーションも上達します。実践リスニング・1 では広範囲にわたる会話英語が耳から入ってきます。そして質問に口頭で答えることによって文章全体の意味を理解して、それに対して返事する練習です。学生が生きた英語のやりとりを通して、聞く・話す能力の開発に努め、異文化理解の端緒とし英会話が出来る自信を得て、外国人と遠慮なくコミュニケーションができるように努めたいと思います。</p>		
1	紹介の仕方、疑問文中の DO と DOES、BE 動詞、否定形、代名詞 I T、冠詞。		
2	人物を説明する言い方。		
3	天気表現。		
4	頻度を表す副詞、現在形の用法。人称代名詞、現在進行形。		
5	SOME, ANY と ONE の用法、代名詞、BE 動詞と規則変化をする動詞の過去形。		
6	疑問詞、不規則動詞の過去形。		
7	現在形に用いる時を表す副詞(句)。		
8	未来形 BE GOING TO、CAN と CAN'T。		
9	経験を伝える方法。		
10	アポストロフィ (')を用いた所有の表現、代名詞 ONE と ONES、仮主語 THERE。		
11	時間と距離の表現用法、短い文章の接続。		
12	何か様子を尋ねる表現、場所を示す副詞、動詞+TO+動詞。		
13	動詞+TO+動詞、付加疑問、所有格。		
14	複合動詞。WHY と BECAUSE。		
15	何かの様子をたずねる表現、場所を示す副詞、動詞+To+動詞。		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
教科書は使用しない			
参考書			
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	筆記試験	70	
	学生が書いた会話を練習する	10	
	ペアワーク or グループワーク	10	
	授業中の発言	10	

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none">・リスニングスキルをレベルアップさせる。・ネイティブスピーカーが使用する英語が理解できるようになる。・自信をもって英語が話せるようになる。
先修条件	
実務経験	
その他	